

1	む	指示語の問題	〔知識・技能〕
前	名		

指示語は前後の文や文中の言葉を指し示す言葉です。
「こそあど言葉」ともいいますね!
指示語に注意して読むと文脈が正確にとらえられますよ。

やってみよう

一、次の――線部の指示語が指し示す内容を、――に当てはまる言葉を書き抜いて
答えましょう。

(1) 机の上にボールペンがある。それを使ってメモを
取ってくれ。

(2) 時間通りに駅に到着した。――から学校までは歩いて十分程度だ。

(3) みんなはもう待ち合わせ場所の駅に
います。早くこちらに来てください。

(4) 家族と公園に行つた。そこでバーベキューをした。

(5) あそこに白い屋根の家があるでしょう。あれが私の
新しい家です。

(6) 夏の夕方、雷が鳴る時があるが、うちの犬はそれが苦手なのだ。

二、次の――線部の指し示す内容を、文章中の言葉を使って答えましょう。

(1) 先週の土曜日、学校で体育大会が行われました。その日は一日晴天でした。(答え方に注意!)

(2) 弟が六時になつても帰らない。こんなことは今までなかつたのに。

(3) そついいえば、みんなで水族館へ行こうと話し合つたけど、あの話は、どうなつた?

(4) 食用として好まれる魚にカツオやマグロがある。これらは、サバ科の魚です。

。 話。

。 こと。 日。

2

読む

接続語の問題

(知識・技能)

前名

接続語は前後の文や文節、段落をつなぐ働きをします。
いくつかの種類があつて、種類によつて働きが違うよ！
接続語に注意して読むと、文脈を正確にとらえられます。

やってみよう

一、次の文章中の□にあてはまる接続語をあとから選んで記号で書きましょう。

明日は体育大会だ。□ 明日の天気がとても気になる。

雨がひどく降っている。□ 明日の大会は決行されるといつ。

明日は体操服、□ 汚れてもよい服装を持ってきた方がいい。

朝起きて、顔を洗つて服を着替え、□ 朝ご飯を食べる。

今日は早く寝よう。□ 明日は体育大会だからだ。

【語群】

ア、そして イ、では ウ、しかし エ、たとえば オ、なぜなら
カ、だから キ、あるいは

二、次の――線部の接続語の働きとして適切なものを次から選んで書きましょう。

私は姉と弟がいます。つまり、三人兄弟ということです。

テスト前に必死で勉強した。だから、結果がよかつたのだ。

今年の家族旅行は海がいいだろうか。あるいは山がいいだろうか。

ア、転換：前の事柄から話題を換えて別の事柄を述べる働き。
イ、対比・選択：前の事柄とあとの事柄を比べたり選んだりする働き。
ウ、説明・補足：前の事柄をあとでまとめて補つたりする働き。
エ、順接：前に原因・理由、あとに結果が書かれていることを示す働き。
オ、並立・累加：前の事柄にあとの事柄を並べたり付け加えたりする働き。

三、次の文章中の□にあてはまる言葉をあとから選んで記号で書きましょう。

このカメラはとても性能がいい。しかも、値段が□。
ア、ちょっと高い。 イ、とても高い。 ウ、安い。

四、次の文章中の接続語に気を付け、続きの文章を考えて書きましょう。

待ち合わせの時間が過ぎた。ところが、彼女は□。

指示語の問題

〔確認〕

名前

やつてみよつ

次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

日常よく使う語の中には、一つの語で二つ以上

の意味を表す言葉があります。皆さんによく

知っている「足」という言葉も、「人体の一部

（あしが長い）」「器物の支え（机のあし）」「歩

行（あしが早い）」などの意味を持っています。

そのような語を多義語といいます。

もしも多義語を使わなかつたら、日常会話が

全体的に長い表現を使って行われることになつ

てしまします。また、多義語を使わなければ、

事柄の違いを全て異なる語で説明しなければな

らなくなり、事柄と同じ数だけの語が必要にな

つてしまふのです。これらが日常語に多義語が

多く使われる要因です。

これに対しても、「文節」の意味を二つ以上載

せてくる辞書はありません。このことは、さま

ざまな専門分野に使われる用語の意味は、それ

それに一つしかないのが普通だということを示

しています。このような語には厳密さが求めら

れますし、数も少ないもので記憶の負担も少なく、

多義にする必要がないのです。

一、——線部 「そのような」が指し示す内容を文章中から十五字で探し書き抜きなさい。

二、——線部 「これら」が指し示す部分を文章中から二文で探しはじめて終わりの二字を書き抜きなさい。

三、——線部 「このこと」が指し示している内容を文章中の言葉を使つて答えなさい。

四、——線部 「多義にする必要がない」とあるが、その理由として当てはまらないものを次から選んで記号で書きなさい。

ア、専門分野に使われる用語の意味は、それそれに一つしかないのが普通だから。
イ、専門分野で使われる用語には厳密さよりもわかりやすさが求められるから。
ウ、専門分野で使われる用語は数が少なく記憶するのに負担がかからないから。

接続語の問題

〔確認〕

名前

やってみよう

次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

映画館の人気が復活している。家庭用ビデオ

機器等の急速な普及により、「時は映画館の数

もずいぶん減ったが、最近は映画館のサービス

向上の努力によって集客数が伸びている。

1、あなたは映画は映画館で見るのが

よいと考えるだろうか、家で見るのがよいと考

えるだろうか。

映画はもともと映画館のスクリーンの大きさ

に合わせて作られている。(A) 2、映画

館で見る方が、映像、音響とともに、本来の迫力を味わうことができるといえる。(B) また、

映画館は映画を見るための特別な空間なので、

映画館で映画を見る場合には、日常から離れて映画の世界に入り込むことができる。(C)

一方、家でビデオ等で映画を見る場合には、

上映時間にこちらが合わせなければならないといいう制約がないので、自分の好きな時間に見ることができるのである。(D) 3、巻き戻しや

一時停止などで、見たい場面を繰り返し見ることができるので、見たい場面を繰り返し見ることができるといつ利点もある。

1、□ 3 □ にあてはまる接続語

ア、またイ、しかしウ、だからを次から選んで書きましょう。

エ、さてオ、あるいは

1 □ 2 □ 3 □

1、――線部「また」の接続語としての働きを次から選びましょう。

ア、順接イ、逆接ウ、転換エ、並列・累加オ、対比・選択

□ □ □

1、次の「」の一文は、第三段落から抜き出したものである。この一文

を文中に付け加えるとしたら、(A)～(C)のどこに入れるのが適当ですか。記号で書きましょう。

〔つまり、集中して映画を楽しむことができるのです。〕



――線部「一方」は何と何を比べているのですか。解答欄に合わせて文章中の言葉で書きましょう。

五、――線部を接続語を使って、二つの文章に分けて書きましょう。

1 □ 2 □

場合。

1 □ 2 □

2 1